

ふるさと春日部地域要望

横断歩道白線敷きと路面ベンガル塗装

八幡橋付近・酒のマルコー様前
(主要地方道松伏春日部線) 横断歩道の白線敷きと路面ベンガル塗装を行って頂きました。



横断歩道新設

樋堀西バス停前 (主要地方道松伏春日部線) 交差点の安全対策のため横断歩道を新設しました。



歩車分離式信号機へ

春日部駅西口交差点 の信号機を、歩車分離式信号機へ変更しました。



防災・減災ニューディール政策

公明党は災害に強い地域社会を構築するため、橋や道路、上下水道など社会資本(インフラ)を総点検し、老朽化対策と併せて、防災・減災対策を計画的に進める「防災・減災ニューディール政策」を打ち出しています。

過日、市民の方から大落古利根川に架かる埼葛橋(粕壁2丁目・八丁目付近)の橋脚のコンクリートの一部が剥離、鉄筋が露出(写真1・2)しているので、修復して欲しいとの要望がありました。

早速、国土交通省・関東地方整備局・大宮国道事務所にお願いした所、応急処置として鉄筋の錆止め剤を塗布(写真3)、今後はコンクリート等の修復を行う必要がある様です。現時点で補修時期は未定ですが、今年度に補修に向けた準備を進める予定です。



決算特別委員会

私、ごんもり幸男は今年度、決算特別委員会に所属していました。

9月定例議会終了後、10/17・23の2日間の県内施設(行田浄水場/県立がんセンター、土屋小児病院/彩の国さいたま芸術劇場)の視察、10/22・25・26・11/1・6・7・12・14・15の9日間に渡り、平成23年度県公営企業会計決算と一般会計及び特別会計決算について、皆様から納めて頂いております税金が有効に使われていたかを県民目線で慎重かつ厳重に審査を行いました。

今回の決算特別委員会において、各部の審査が終わった後に、私が行った提言は5つですが、県土整備関係で「災害時における緊急輸送道路について、更なる安全対策を講じること。特に緊急輸送道路上の耐震補強が必要な橋りょうのうち、未対策の残り38橋についても、速やかに耐震補強を実施すること」。

その他、福祉部関係・教育局関係などです。



県政に関するご意見・ご要望をお寄せください。



県議会控室

TEL 048-822-9606 FAX 048-822-9408

〒344-0011 埼玉県春日部市藤塚250-337

TEL・FAX 048-738-2364

新年明けましておめでとうございます。
皆様におかれましては健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

公明党は昨年12月の衆院選で前回選挙を上回る議席を獲得し大勝利を飾り、新しい

自公連立政権が発足いたしました。

さて、2013年「日本再建元年」のスタートです。今、日本は国難の危機に直面しています。私、ごんもり幸男は、この埼玉から、一刻も早く停滞した景気・経済を再生し、安心の社会保障構築へ全力で現場に飛び込み、暮らしの課題をしつかりと受け止め、皆様の熱い期待にお応えできるよう邁進してまいります。

又、本年は夏に参院選を控え、「政治決戦の年」でもあります。公明党の原点である参院選に勝利し、「生活を守る政治」に徹して、埼玉・春日部のために山積している問題に取り組んでまいります。何卒本年も力強いご支援を宜しくお願ひいたします。

皆様にとって本年がすばらしい年になりますよう心よりお祈りいたします。

平成25年1月



ごんもり幸男の主な活動についてご報告します

7月

3日(火) 春日部駅付近連続立体交差事業早期完成に関する要望書を上田知事に提出



14日(土) 第40回春日部夏まつり

17日(火)~19日(木) 総合的な危機管理・大規模災害対策特別委員会視察(於・大阪/京都/兵庫)

27日(金) いじめ防止に関する緊急要望を前島県教育長に提出

8月

3日(金) 県議団視察(於・群馬県庁/高崎市動物愛護センター)

7日(火)~8日(水) 県議団視察(於・大分県庁/大分県太陽の家)

23日(火) 決算特別委員会視察②(於・土屋小児病院/彩の国さいたま芸術劇場)

9月

16日(日)~17日(月) 平成24年度春日部市敬老会(於・市民文化会館)

20日(木)~21日(金) 各種団体意見交換会(於・県議会議事堂)

10月

15日(月) 平成25年度予算要望書を上田知事に提出、県議会9月定例議会閉会

17日(水) 決算特別委員会視察①(於・行田浄水場/県立がんセンター)

22日(木) 福祉保健医療委員会視察(於・詩の森幼稚園/加須市医療診断センター)

11月

3日(土) 市民福祉まつり(於・ウイング・ハット春日部)



11日(日) 平成24年度市消防特別点検(於・市消防本部)



12月

3日(月) 県議会12月定例議会開会

18日(火) 福祉保健医療委員会

19日(水) 総合的な危機管理・大規模災害対策特別委員会

21日(金) 県議会12月定例議会閉会

埼玉県議会議員 権守幸男

年頭のごあいさつ



県議会9月定例会で2度目の一般質問に登壇!!

埼玉県議会9月定例会において、私、ごんもり幸男は昨年10月2日に一年生議員ながら2度目の一般質問に登壇させていただきました。

これからも皆様からいただいたご意見・ご要望を県政に届けて参ります。

今年も全力で県政の改革に取り組んで参ります!!



大規模災害時の医療機関・福祉施設の燃料確保について

ごんもり幸男質問

県が指定した災害時の医療関係の重要施設は、災害拠点病院など18病院と4つの県立病院、1つの血液センターですが、医療機関や福祉施設は対象になっておりません。特に、人工透析などを行っている医療機関や高齢者を抱える福祉施設への燃料確保については、県としても今後の対応について検討していくべきと考えますが、危機管理防災部長のご所見を伺います。

危機管理防災部長答弁

災害時に一般の医療機関・福祉施設などへの非常用燃料配達業務に対応できる給油所を県内に確保する必要があります。給油所を全県下で選定し、一刻も早く災害時の給油体制を整備してまいります。



県営住宅の孤立死対策について

ごんもり幸男質問

①「高齢者などの見守り」について

本県の見守り事業の対象者は70歳以上の単身世帯となっており、安否確認を希望した方に限り、月に1回、電話連絡を行い、何がしかの理由で連絡が取れなかった場合、その方の自宅に伺って安否確認することになっています。そこで、障がい者なども含めて、月に1回の見守り事業の対象を見直すべきと考えますが、都市整備部長のご所見を伺います。

都市整備部長答弁

①「高齢者などの見守り」について

平成24年7月からは、70歳以上の高齢夫婦世帯、障がい者世帯、母子世帯に登録対象を拡大した所ではあるが、年齢引き上げなど登録対象の更なる見直しについては、入居者の意向を把握した上で、検討してまいります。

②「安否確認後の対応」について

平成24年9月18日から、新聞販売店など142社の民間事業者にご登録を頂き、入居者の異変を通報してもらう「見守りサポーター制度」を創設。この制度の着実な実施に努めてまいります。



ごんもり幸男 埼玉県議会9月定例会一般質問 質問要旨（抜粋）

介護現場の声からについて

ごんもり幸男質問

介護職はとても大切な、やりがいのあるプロフェッショナルな仕事であり、日々誇りをもって仕事に臨めるように、更には、より志のある人たちが介護の世界を目指してもらうためには、上田知事を先頭に、県として「介護職のイメージアップ」に取り組むべきと考えますが、いかがでしょうか？



H24.10.3 埼玉新聞

上田 知事 答弁

急速に進行する高齢化の中にあって、介護職は要介護者やその家族の不安と負担を軽減するものとしてなくてはならない仕事ではあるが、一方、ネガティブなイメージがあることも事実だと思います。介護職のイメージアップには、まずは介護の仕事を県民に十分理解してもらうことが重要であり、ボランティア活動や学校教育での介護体験の導入などにより、介護職のやりがいや重要性の理解促進を図っていくことも必要だと思います。



里親支援策の拡充について

ごんもり幸男質問

①「里親登録証の発行」について

里親自身の証明となる「里親登録証」があれば、里子に何かあった時でも対応が簡便になり、また、「里親登録証」は里親自身の励みや里親制度の啓発にもなる。本県においても、名刺サイズの「里親登録証」を早急に発行すべきと考えますが、いかがでしょうか？

※（語句説明）里親とは児童福祉法に基づき、保護者のない児童や、保護者に任せることが不適当であると認められる児童を引き取り、養育する者。

（語句説明）里子とは里親に委託された児童。

②「里子の受診券」について

この「受診券」は里親に子どもを委託した際に、児童相談所から発行されるもので、里子が医療機関にかかる時に提示する券ですが、一部の病院や診療所などで事務職員が知らないケースがあり、「受診券」が何であるか里親自ら医療機関に説明する必要があります。

各医療機関に対して、里子の「受診券」の周知徹底を図るべきと考えますが、いかがでしょうか？

合せて、名刺サイズの「受診券」を発行すべきと考えますが、いかがでしょうか？

福祉部長 答弁

①「里親登録証の発行」について

里親であることを公的に証明し、里親としての意識を高く持つてもらい、励みにもなるものとして、常に携帯できる里親登録証は有効なものと考えます。

どうるものであれば使いやすいのか、里親登録証の発行について検討してまいります。

②「里子の受診券」について

医療機関に対する「受診券」の周知については、医療機関向け広報紙への掲載を依頼するなど、医療機関への一層の周知に努めてまいります。

「受診券」のサイズについては、どのようなものであれば使い勝手が良くなるのか、具体的に検討してまいります。



その他

- 犬・猫の殺処分ゼロを目指してについて
- 家畜伝染病対策について
- 大型店・チェーン店の地域貢献について

- 看護師不足について
- 会之堀川の整備について

質問いたしました。